

会 議 の 経 過

開 会 午前10時00分

令和6年1月5日

議 長（高橋拓生君）

ただいまから、令和6年平泉町議会定例会を開会いたします。

このたびの令和6年能登半島地震により甚大な被害が発生し、多くの貴い命が失われました。被害に遭われました皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々とその家族の皆様方に謹んでお悔やみを申し上げます。黙禱をささげたいと思いますので、ご起立願います。

（起 立）

議 長（高橋拓生君）

黙禱。

（黙 禱）

議 長（高橋拓生君）

黙禱を終わります。ご着席願います。

（着 席）

議 長（高橋拓生君）

令和6年平泉町議会定例会が開催されるに当たりまして、一言、私のほうからご挨拶を申し上げます。

改めまして、明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

年頭に当たり、町議会を代表しまして、謹んでご挨拶を申し上げます。

さて、この4年間、猛威を振るった新型コロナウイルス感染症はいまだ完全な終息に至っておりませんが、改めてこれまでの皆様のご労苦とご心痛を察し、感染拡大防止へのご努力に敬意と感謝を申し上げます。

昨年は、3月に開催されましたワールドベースボールクラシックにおいて侍ジャパンが4年ぶりに3度目の優勝を果たし、閉塞感が漂う社会情勢の中、その姿は多くの人々に勇気と感動を与えていただきました。町内では、1月に東稲山山麓地域が日本農業遺産に認定され、農業の活性化と魅力向上が期待されております。7月には4年ぶりに3基そろった水かけ神輿を開催するなど、様々な行事が再開され、本来の平泉町の姿を取り戻しつつある1年でありました。

一方で、コロナ禍の長期化やウクライナの情勢による燃料価格や物価高騰、災害の増加は私たちの生活や経済に大きな影響を及ぼしております。本町でも、子育てや教育、少子高齢化、産業振興、観光活性化などの課題がありますが、議会として、様々な町政課題の解決に向け、しっかりと議論を重ねるとともに、町民の皆さんの声を町政に的確に反映させてまいります。

本年4月には、町議会議員としての任期が満了となりますが、引き続き、二元代表制の一役を担う機関として執行部と切磋琢磨しながら、住民の皆様を第一に考え、務めていく所存であります。また、議会の役割を十分発揮しながら町政の発展に貢献していくために、これからも議会改革を進め、一番身近な頼れる議会を目指していきます。本年におきましても、執行側、議員各位の特段のご協力をお願いいたします。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして幸多き年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

次に、青木町長からご挨拶をいただきます。

青木町長。

町 長（青木幸保君）

新年明けましておめでとうございます。

議員各位におかれましては、新たな希望を胸に新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

令和6年初の平泉町議会の開会に当たり、お許しをいただきましたので、ここでご挨拶を申し上げます。

冒頭、能登半島地震によって甚大な被害が発生しており、亡くなられた多くの方々にご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に対し心からお見舞いを申し上げます。国を挙げての支援であります。町といたしましても、県、町村会と町村議長会等々とも連携を取りながら、支援に向けて全力で取り組んでまいりますので、なお一層のお力添えを賜りたいというふうに思います。

さて、新型コロナウイルス感染症はいまだ終息には至ってはおりませんが、5類感染症に移行されたことにより、住民生活や経済活動が平常を取り戻しつつあり、ようやく先行きに明るさを感じられるようになってまいりました。

本年は、中尊寺金色堂の建立から900年の節目の年となります。東京国立博物館での金色堂特別展など、年間を通じて多彩なイベントを展開することとしており、また、昨年、東稲山麓地域の日本農業遺産認定を契機とし、世界文化遺産、世界かんがい施設遺産、日本遺産と合わせて4つの遺産を複合的に結びつけながら、観光と経済の回復に全力を傾注してまいります。

昨年は、地域懇談会を開催いたしました。お寄せいただいたご意見やご要望を、地区ごとに様々ではありますが、区長を中心とした地域の皆様との対話を常に大切にしながら、一緒になって課題を解決してまいりたいと考えております。

現在進めている第6次総合計画に基づく各施策事業では、こうした町の強みや新しい魅力を生かしながら「輝きつむぐ理想郷」を目指しておりますが、明日の平泉をつくる主役は町民の皆様であります。チーム平泉の力で、持続できるまちづくりを進めてまいります。そのかじ取り役となって誠心誠意務めてまいります。今年も、町民と共に、議会と両輪となってまちづくりを進めていく所存でありますので、今後ともなお一層のお力添えをお願いを申し上げます。

結びになりますが、議員各位のご健勝とご活躍、ご多幸を心からお祈りを申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。どうぞ本年もよろしくお祈りをいたします。ありがとうございます

ます。

議長（高橋拓生君）

ただいまの出席議員は全員です。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

これから1月会議を開きます。

日程に入るに先立ち、諸報告を行います。

議長から諸般の報告を行います。

定例会1月会議に説明員として出席する者の職氏名を一覧表にしてお手元に配付しておきましたので、ご了承願います。

以上で議長の諸般の報告を終わります。

これから本日の議事日程に入ります。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。この日程で進めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（高橋拓生君）

異議なしと認めます。

したがって、この日程で進めることに決定いたしました。

直ちに本日の日程に入ります。

議長（高橋拓生君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、4番、氷室裕史議員及び5番、阿部圭二議員を指名いたします。

議長（高橋拓生君）

日程第2、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から3月29日までの85日間にしたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（高橋拓生君）

異議なしと認めます。

したがって、会期は本日から3月29日までの85日間と決定いたしました。

議長（高橋拓生君）

これで本日の日程は全て終了いたしました。

閉議の宣言をいたします。

ご起立願います。

これをもって、令和6年平泉町議会定例会1月会議を閉じます。

ご苦労さまでございました。

散会 午前10時11分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平泉町議会議長 高 橋 拓 生

署名議員 氷 室 裕 史

同 阿 部 圭 二